

市民意識（ニーズ）調査について

1 目的

次期計画策定にあたり、子ども・子育て環境や保育の状況を把握し、サービスの必要量の算出に活用するため、以下の項目について留意しながら実施します。

- 国から示される調査票案（就学前児童保護者のみ）をベースとして実施する。
- 前回調査（H25 実施）との整合性も考慮し、子育て家庭の状況の把握並びに経年比較を行う。
- 岡崎市の地域別の子育て家庭の実態並びに保育ニーズを把握する。
- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）への考えの把握

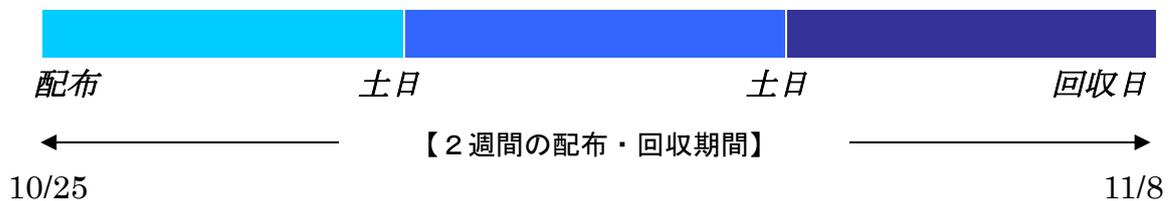
等

2 調査対象、配布数等

調査対象区分	配布数	配布方法	目的
①就学前児童保護者	5,000件	郵送による 配布・回収	目標事業量の算出や就学前のニーズを把握する。
②小学生児童保護者	3,000件		就学後のニーズの把握や子育て全般の基礎資料とする。
③保育園・幼稚園・認定こども園職員	900件	直接配布・回収	子育て中の親からの要望や教育・保育を行うにあたっての問題点などを把握する。
④事業所	500件	郵送による 配布・回収	企業の子育て支援やワーク・ライフ・バランスへの考え方について把握する。

3 実施時期

調査の実施時期は、10月25日（木）～11月8日（木）を予定しています。
回収期限日は、配布日から土日を2回挟んだ2週間後とします。



4 その他

調査票の回収率向上のため、調査票送付の1週間後に督促状兼礼状を送付します。

①就学前児童保護者の調査票について

大項目	H30問番号	H25問番号	設問項目	調査区分		調査の目的・狙い
				H30	H25	
1 お住まいの地域	1	1	居住地区	○	○	
	2	2	岡崎市における在住年数	岡	岡	
2 お子さんご家族の状況	3	3	子どもの年齢	○	○	基本的な属性を把握し、クロス集計などを行いながら属性別の傾向を把握するため
	4	4	兄弟姉妹の人数	△	△	
	5	5	調査票の回答者	○	○	
	6	6	回答者の配偶者の有無	○	○	
3 子どもの育ちをめぐる環境	7	7	子どもの子育て(教育を含む)を主にしている人	○	○	子育て環境の現状を把握し、子育て支援施策の検討の参考とするため
	8	8	日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無	△	△	
	削除	9	子育て(教育を含む)に関する相談先の有無	削除	△	
	削除	9-1	→子育て(教育を含む)に関する相談相手、場所	削除	△	
4 保護者の就労状況	9	10	妊娠、出産、子育てを通じて、困ったことや悩んだことの有無	岡	岡	家庭類型を把握し、各事業の見込量算出の基礎資料とするため
	10	11(1)(2)	母親・父親の就労状況	○	○	
	10-1	11(1)(2)-1	→就労時間(週あたり、1日あたり)	△	△	
	11	12	→パート・アルバイト等で就労している父親・母親のフルタイムへの転換希望	○	○	
5 平日の定期的な教育・保育事業利用状況	12	13	→未就労の父親・母親の就労希望/希望する就労形態	○	○	教育・保育サービスの見込量の算出のため
	13	14	定期的な教育・保育の事業の利用の有無	○	○	
	13-1	14-1	→定期的に利用している平日の教育・保育の事業内容	○	○	
	13-2	14-2	→定期的に利用している平日の教育・保育の利用頻度/利用希望頻度	○	○	
	14	15	利用の有無にかかわらず、平日定期的に利用したいと考える教育・保育の事業内容	○	○	
14-1		幼稚園・幼稚園の預かり保育の利用希望の強さ	新規			
6 地域の子育て支援事業の利用状況	15	16	地域子育て支援拠点事業の利用状況	○	○	地域子育て支援拠点事業の見込量の算出のため
	16	17	地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望	○	○	
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	17	18	土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望/利用したい時間帯	○	○	休日における保育サービスの見込量の算出のため
	18	19	幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望、利用希望時間	○	○	
8 お子さんの病気の際の対応(平日の教育・保育を利用する方のみ)	19	20	子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無	○	○	病児・病後児保育サービスの見込量の算出及び方策の検討のため
	19-1	20-1	→子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法・日数	○	○	
	19-2	20-2	→病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか/利用したいと思った日数	○	○	
	19-3		→病児・病後児保育施設に希望する条件	新規		
	19-4		→利用したいと思う利用料金	新規		
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用	20	21	私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業内容・日数	○	○	一時預かり、子育て短期支援事業、ファミリーサポートセンター事業などの見込量の算出のため
	21	22	私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思う日数	○	○	
	22	23	子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の有無/対処方法・宿泊数	○	○	
10 小学校就学後の放課後の過ごし方(子どもが5歳以上の方のみ)	23(※)	24	小学校低学年(1~3年生)時、放課後過ごさせたい場所、日数	○	○	→小学生の調査件数を増やしたことにより、就学前からは削除
		25	小学校高学年(4~6年生)時、放課後過ごさせたい場所、日数	○	○	
	削除	26	土曜日・祝日・長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望・希望利用時間	削除	△	
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	24	27	父親・母親の育児休業制度の取得状況	△	△	育児休業制度の利用促進に向けた方策の検討及び保育サービスの潜在的ニーズの把握のため
			父親・母親が育児休業制度を取得していない理由	△	△	
	24-1	27-1	→育児休業取得後の職場への復帰状況	△	△	
	24-2	27-2	→育児休業取得後の職場への復帰のタイミング	△	△	
	24-3	27-3	→職場復帰時の実際の取得期間と希望	△	△	
	24-4		→理想の取得期間	新規		
24-5	27-4	→希望の時期に職場復帰しなかった理由	△	△		
24-6	27-5	→子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか	△	△		
12 子育て全般	25		各事業の認知度、利用の有無、利用希望	新規		施策の評価及び今後の検討のため
	26	28	子育て環境の満足度(一部選択肢追加)	岡	岡	
	27	29	市に期待する施策(一部選択肢追加・削除)	岡	岡	
	28	30	教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見 [自由記述]	△	△	

(※) 前回調査票における複数の設問を1つにまとめています。

「○」は、国が示す量の見込みの推計上、必要な項目
「△」は、国が示す任意項目
「岡」は、本市の独自項目

②小学生保護者の調査票について

大項目	H30問番号	H25問番号	設問項目	調査区分		調査の目的・狙い
				H30	H25	
1 お住まいの地域	1	1	居住地区	○	○	
	2	2	岡崎市における在住年数	岡	岡	
2 お子さんご家族の状況	3	3	子どもの年齢	○	○	基本的な属性を把握し、クロス集計などを行いながら属性別の傾向を把握するため
	4	4	兄弟姉妹の人数	△	△	
	5	5	調査票の回答者	○	○	
	6	6	回答者の配偶者の有無	○	○	
	7	7	子どもの子育て(教育を含む)を主にしている人	○	○	
3 子どもの育ちをめぐる環境	削除	8	子育て(教育を含む)にもっとも影響すると思われる環境	削除	△	子育て環境の現状を把握し、子育て支援施策の検討の参考とするため
	8	9	日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無	△	△	
	8-1	9-1	→祖父母などの親族にみてもらっている状況/友人・知人にみてもらっている状況	△	△	
	削除	10	→子育て(教育を含む)に関する相談相手、場所	削除	△	
	削除	11	子育て(教育を含む)をする上で、周囲からの必要なサポート [自由記述]	削除	△	
4 保護者の就労状況	9	12(1)(2)	母親・父親の就労状況	○	○	家庭類型を把握し、各事業の見込量算出の基礎資料とするため
	9-1	12(1)(2)-1	→就労時間(週あたり、1日あたり)	△	△	
	10	13	→パート・アルバイト等で就労している父親・母親のフルタイムへの転換希望	○	○	
	11	14	→未就労の父親・母親の就労希望/希望する就労形態	○	○	
5 子育て支援サービスの認知度	12	15	各事業の認知度、利用の有無、利用希望	△	△	各事業の周知啓発及び方策の検討のため
	13	16	→各事業の満足度	岡	岡	
6 お子さんの病気の際の対応	14	17	子どもが病気やケガで学校を休んだことの有無	○	○	病後期一時託児事業やファミリー・サポート・センター事業などの見込量の算出のため
	14-1	17-1	→子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法・日数(一部選択肢追加)	○	○	
	14-2	17-2	→施設等を利用したいと思ったか/利用したいと思った日数	○	○	
	削除	17-3	→できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたいと思ったか	削除	△	
7 不定期な預かり事業の利用	15		私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の日数	新規		子育て短期支援事業、ファミリーサポートセンター事業などの見込量の算出のため
	16	18	私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思う日数	○	○	
	削除	18-1	→私用等で子どもを預ける場合、望ましいと思う施設等の事業形態	削除	△	
	17	19	子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の有無/対処方法・宿泊数	○	○	
8 放課後の過ごし方	削除	19-1	→親族や知人にみてもらった際の困難度	岡	岡	放課後児童健全育成事業の見込量の算出及び放課後対策の検討のため
	削除	20	放課後や休日の活動(一部選択肢追加)	削除	岡	
	削除	20-1	→青少年団体に参加している状況	削除	岡	
	18(※)		現在の放課後の過ごし方	-		
		21	小学校低学年(1~3年生)時、放課後過ごさせたい場所、日数	○	○	
		22	小学校高学年(4~6年生)時、放課後過ごさせたい場所、日数	○	○	
	19		小学生だけで家で過ごすことに不安を感じるか	新規		
	20	23	→土曜日・祝日・長期休暇の放課後児童クラブの利用希望・希望利用時間	△	△	
	21		放課後児童クラブの利用理由	新規		
	21-1		→他学区の放課後児童クラブの利用意向	新規		
削除	24	放課後児童クラブを実施する望ましい場所	削除	岡		
22		学区こどもの家の利用理由	新規			
22-1	25	→学区こどもの家の望む機能(選択肢一部変更)	岡	岡		
9 子育て全般	22	26	子育て環境の満足度(一部選択肢追加)	△	△	施策の評価及び今後の検討のため
	23	27	市に期待する施策(一部選択肢追加)	岡	岡	
	24	28	教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見 [自由記述]	△	△	

(※)前回調査票における複数の設問を1つにまとめています。

「○」は、就学前調査票で国が示す量の見込みの推計上、必要な項目
「△」は、就学前調査票で国が示す任意項目
「岡」は、本市の独自項目

③園職員の調査票について

大項目	H30問番号	H25問番号	設問項目	調査区分		調査の目的・狙い
				H30	H25	
1 あなたご自身	1	1	勤務先の園(公立の保育園・幼稚園・認定こども園)	○	○	基本的な属性を把握し、クロス集計などを行いながら属性別の傾向を把握するため
	2	2	保育経験年数	○	○	
	3		年齢	新規		
	4		資格の保有状況	新規		
2 仕事や職場の環境	5	3	仕事へのやりがい・充実感	○	○	仕事や職場環境の問題把握と改善策の検討のため
	6	4	仕事の満足度	○	○	
	7	5	現在の仕事量	○	○	
	8	6	以前と比べた勤務の負担感	○	○	
	8-1	6-1	→負担が増加してきた主な原因	○	○	
	9	7	仕事上の悩み・不満	○	○	
	10		職場・施設の改善すべき事項	新規		
	11	8	仕事の継続意向	○	○	
	12	9	知識や専門性を高める研修の参加意向	○	○	
12-1	9-1	→希望する保育や幼児教育の研修内容	○	○		
3 保護者などの状況	13	10	保護者からの要望	○	○	保護者のニーズや必要なサービスの動向の把握と改善策の検討のため
	14	11	子どもの保育に関する問題(選択肢追加)	○	○	
4 ワークライフバランス	15		仕事と生活のバランス	新規		職員のワークライフバランスの実状を把握し、保育人材の確保の方策を検討するため
	16		仕事と生活の充実度	新規		
	17		仕事と生活の影響	新規		
	18		相談相手	新規		
	19	12	仕事上の要望や提案、日頃感じていること [自由記述]	○	○	要望事項や職場環境の改善策の検討のため

④事業所の調査票について

大項目	H30問番号	H25問番号	設問項目	調査区分		調査の目的・狙い
				H30	H25	
1 事業所(概要)	1	1	調査票を記入する担当部署	○	○	事業所の基本属性や、休日・夜間勤務等の実状の把握のため
	2	2	事業所の概要(性格・業種・従業員数)	○	○	
	3	3	従業員の状況	○	○	
	4	4	勤務の状況(労働時間・休日勤務・夜間勤務・勤務状況の男女差)	○	○	
2 管理職の状況	5	5	管理職の男女別内訳	○	○	女性管理職の状況と阻害要因の把握のため
	6		ポジティブ・アクションの認知度と取組状況	新規		
	7	6	女性管理職が少ないと考えられる理由(一部選択肢削除)	○	○	
	8	23	一般事業主行動計画の状況	○	○	
3 退職・離職・再雇用の状況	9	7	過去3年間に退職した女性従業員のうち、結婚や出産を理由に退職した従業員の割合	○	○	妊娠・出産・子育ての女性の就労への阻害状況や再雇用の実態を把握するため
	削除	8	再雇用に関する規定	削除	○	
	削除	8-1	→再雇用後の女性従業員の配置	削除	○	
	10		過去3年間に結婚や妊娠・出産などで退職した人の再雇用の有無	新規		
	11		キャリアブランクのある人材の雇用	新規		
4 仕事や職場の環境	12	9	子育て支援の実施状況(項目追加)	○	○	事業所における子育て支援の取り組みの実態把握のため
	12-1	9-1	→在宅勤務制度の考え方	○	○	
	13	10	従業員の育児休業制度の取得状況	○	○	
	14	11	従業員の短時間勤務制度・看護休暇・育児目的休暇の取得状況(項目追加)	○	○	
	15	12	育児休業からの職場復帰支援策	○	○	
	16	13	育児休業後の復帰者への賃金の取扱い	○	○	
	17	14	育児休業後の復帰した従業員の配置	○	○	
5 子育て支援	18	16	過去5年間の育児休業・育児休暇の取得申請状況	○	○	事業所における子育て支援の取り組みの課題把握のため
	19	15	男性が育児休業・育児休暇を取得することの事業所としての考え方	○	○	
	20	18	従業員の子育て支援の事業所としての考え方	○	○	
	21	17	育児・介護休業制度を定着させるために必要なこと	○	○	
	22	19	子育て支援の推進における問題	○	○	
6 ワークライフバランスの推進	23	20	従業員の働き方の見直し	○	○	ワークライフバランス及び子育て環境の整備の推進に向けた検討のため
	24	21	ワーク・ライフ・バランスの推進	○	○	
	24-1	21-1	→ワーク・ライフ・バランスの推進が必要と思う理由	○	○	
	25	22	ワーク・ライフ・バランスの障害となること	○	○	
	26	24	仕事と家庭の両立に向けて市が取り組むべきこと	○	○	
	27	25	仕事と家庭の両立が図りやすい社会づくりに関する意見 [自由記述]	○	○	